

2016 第9回 中国地域有機農業情報交換会 in東広島

～有機農業で創る未来と豊かな暮らし～

持続可能な社会と心豊かな暮らしを求めて、有機農業への就農者が増えています。一般消費者、学校給食、レストランなどからは美味しくて安心安全な有機農産物を求める動きが広がっています。こうした動きの中には課題も少なくありません。このような課題に対して、生産者、消費者、流通関係者が立場を超えて連携する事で解決している実践例もあります。「中国地域有機農業情報交換会in東広島」では、これまでの様々な経験に学びつつ、諸課題の解決に向けて話し合い、それぞれの地域や活動領域の中での有機農業のさらなる飛躍と、より豊かな暮らしづくりをめざして開催します。

2016年 7月16日(土)～17日(日)

第1部 シンポジウム 16日(土) 13時～17時

会場：広島大学東広島キャンパス・生物生産学部棟
(東広島市鏡山一丁目4番4号)
(11時から、マルシェ、ポスター発表あり)

第2部 交流会 16日(土) 18時～20時

会場：広島大学東広島キャンパス
広島大学消費生活協同組合・会館食堂

第3部 現地見学 17日(日) 9時～12時30分

会場：広島県立総合技術研究所農業技術センター (東広島市八本松町原)/安芸の山里農園はなあふ (東広島市志和町志和西)

参加費 だれでも興味のある方は参加できます

第1部：事前申込1,000円(学生500円)、当日申込1,200円

第2部：3,000円(食事、飲物代含む。事前申込)

第3部：1,000円(学生500円)

主催 第9回有機農業情報交換会in東広島実行委員会
(食と農・広島県協議会、MOA自然農法文化事業団中国支所、学校法人ひらた学園IWA環境福祉専門学校)

後援 (予定) 広島県、東広島市

オーガニック
マルシェ



16日11時～
第1部会場にて開催

会場アクセス



■安芸の山里農園

志和I.C. 山陽自動車道 八本松駅 西条I.C. 西高屋駅

JR山陽本線 国道2号線 農業技術センター 農業技術センター プールパルク No.3ゲート 広島大学 東広島駅 JR山陽新幹線

自家用車利用 国道2号線(西条バイパス)を走り「広島大学」標識に従い進む。大学敷地南西側、3番ゲートから構内に入り「西第2駐車場」に駐車。

電車・バス利用 JR西条駅または八本松駅から広島大学行きバス、「大会館前」下車(どちらも約15分)。

中国地域有機農業情報交換会in 東広島

7月16日(土) / 第1部・第2部 広島大学東広島キャンパス

11:00 オーガニック・マルシェ (12:30終了) とポスター発表 (出展者募集中)

12:00 開場、受付開始

【第1部】シンポジウム

13:00 開会

13:05 記念講演「有機農業で創る未来と豊かな暮らし～自然・社会・生活環境を育む伝統的な農業」～ 木嶋利男さん (公財) 農業・環境・健康研究所理事長

14:10 講演への質疑とワークショップの紹介 小林元さん (広島大学大学院生物圏科学研究科)

14:50 ワークショップ (分科会)

16:30 各ワークショップからの報告とまとめ 小林元さん (広島大学大学院生物圏科学研究科)

16:55 閉会あいさつ

17:00 終了

【第2部】交流会

18:00 広島大学消費生活協同組合・会館食堂にて

20:00 終了

7月17日(日) / 第3部 東広島市八本松町・志和町

【第3部】現地見学会

9:00 広島県立総合技術研究所農業技術センター (東広島市八本松町原6869) に集合、2班に分かれ、2ヶ所を交互に見学。

9:15 ①農業技術センターにて水田取水口の「陽寄せ」効能、トマトの天敵利用等の見学。生産環境研究部・星野滋氏案内

②安芸の山里農園はなあふ (東広島市志和町) にて、米、野菜栽培等の見学。同農園の森昭暢さん案内。[現地には駐車できませんので、必ずバスに乗りしてください]

12:30 終了



記念講演 講師プロフィール

●木嶋利男 1948年栃木県生まれ。1987年 農学博士(東京大学)。
●主な経歴 栃木県農業試験場 生物工學部長、自然農法大学校校長、(財)環境科学総合研究所所長などを経て、現在(公財)農業・環境・健康研究所理事長、伝統農法文化研究所代表。伝承農法が食文化を生み、さらに農村景観を形成してきたものと考え、植物(景観)と食文化(人間)の関係を、栃木市の農場で研究・実証している。
●主な業績 研究員時に科学技術庁長官賞、全国農業試験場会長賞を受賞。著書「拮抗微生物による病害防除・農文協」「農業に頼らない家庭菜園コンパニオンプランツ・家の光協会」他多数。

ワークショップ(分科会)の内容

| テーマ | 話題 | 話題提供者 | 座長 |
|------|---|---|-------------------------|
| 「食」 | 「つくり手」と「食べ手」がどう手を携えていくか。有機農産物が日々の食卓に定着するよう、子ども達の給食での有機野菜の活用を交えながら、明るい未来がある有機農業を食の面から話し合います。 | 平元行信さん(福山市の学校給食へ有機農産物を提供、神石高原町)、原清子さん(給食で有機農産物を活用する東広島市の認定こども園さざなみの森職員) | 大村恵さん(食と菜園アドバイザー、東広島市) |
| 「人」 | 有機農業の新規就農上の悩みや課題等を出し合い、先輩農家の経験や事例を学びながら、仕事としての有機農業が成り立つ要件等を話し合います。 | 坂本重夫さん(予定)(広島県有機農業研究会代表、三原市)、下宮章寛さん(しもみん農園代表、昨年度大学卒業と同時に就農、福山市) | 岩見潤治さん(七三農園代表、東広島市) |
| 「流通」 | 広域的な出荷ニーズにも対応できる有機農産物の流通のあり方と改善点、今後の拡大のためのノウハウ等について話し合います。 | 山本昭利さん(有機農産物の販売グループ・豆の木代表、安芸高田市)、太田高行さん(有機農産物を量販店等へ販売する「百笑隊式拾壺」相談役、広島市) | 田裕充さん(株よしわ有機農園農場長、廿日市市) |

参加申込書 申し込みFAX 082-244-8960

| 氏名 | 所属またはお住まいの市町村 | ①ポスター発表の有無 | 16日(土) | | 17日(日) |
|----|---------------|------------|---------|------|--------|
| | | | ②シンポジウム | ③交流会 | ④現地見学 |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

連絡先

氏名

TEL

E-mail

↑ ①～④は、希望するものに○を記入して下さい

① 1団体A1サイズ1枚分の大きさになります。申込多数の場合は抽選とし、発表できる団体には事務局から連絡をさせていただきます。② 事前申込 1,000円、学生 500円、当日 1,200円 ③ 3,000円。食事、飲物代含む ④ 1,000円(学生 500円)。80名が受け入れの限度です(先着順)。

宿泊は各自で手配してください。会場付近には、東広島グリーンホテルモーリス、東横イン西条駅前、西条HAKUWAホテルなどがあります。

【問い合わせ先】

事務局 電話082-248-4396 携帯(細川)090-5864-080

申込締切：6月30日(木)